

しんぶん  
**赤旗**

日刊 ●月 3497円  
日曜版 ●月 990円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



# しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会  
発行責任者 木村 文次

## 自民党総裁選

# 政治の行き詰まりを打開できず

自民党総裁選（9月27日投開票）には9人が立候補しています。総裁選は、次の解散・総選挙に向けた、まさに「自民党の顔選び」です。しかし、いくら「刷新感」を演出しようとしても、内輪の争いでは、深刻な自民党政治の行き詰まりを打開できません。

**政治路線に対する論争が全く見えない**

いま問われているのは何か。それは岸田文雄首相の政権投げ出しのきっかけとなった統一教会との癒着や裏金問題。そして安全保障政策でも経済政策でも完全に行き詰まりを見せる自民党政治そのものです。

ところが、総裁選では、安倍政権以降、12年にわたり続けられた自民党の政治路線に対する論争が全く見えません。

それこそが、自民党は、安倍政権が退陣に追い込まれて以降も、その政治路線を継承し、総裁選による表紙のすげ替えだけで選挙を乗り切るやり方を繰り返してきたからです。

**裏金問題解明に背を向ける**

今回の総裁選候補は皆安倍・菅・岸田政権で閣僚や党の要職にいた人物ばかり。どの候補も国民の中に広がる政治不信にまともに向き合おうとしていません。特に裏金問題は、個々の議員による政治資金収支報告書の訂正だけでは済まされないう重大問題にも関わらず、誰も真相解明を語っていません。



裏金問題は日本共産党の「しんぶん赤旗」日曜版が昨年から疑惑を報道し、通常国会で追及してきましたが、岸田首相は何の調査も行いませんでした。日本共産党は自民党として裏金疑惑を隠したと指摘して、「新たに明らかにした問題も含めて裏金事件の真相解明をどう進めるのかは最も問われなければならないが、誰も語っていない」と批判しました。

**小手先の対応で幕引きを許すな**

しかし、総裁選で各候補が訴えるのは、政治資金収支報告書への不記載額の「返納」や、処分された裏金議員を次の選挙での「非公認」にするなどという小手先の対応ばかりです。

裏金が違法に使われているのではないかと誰がいつ、何の目的で、どのように裏金づくりを始め、たかを含め真相を明らかにして、厳正な処分を行うべきです。小手先の対応で幕引きをはかろうとする動きを絶対に許すわけにはいきません。



幕引き絶対許さじやー

**企業・団体献金の廃止を**

裏金事件で明らかになった

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→



た政治腐敗の温床に切り込むなら、真相解明、処分とあわせ、30年前の「政治改革」の際、焦点となった企業・団体献金の禁止にまで踏み込む議論が必要だ。

日本共産党は企業・団体献金の抜け道として政治資金パーティーが使われているため、この抜け道をふさぐことこそが政治と力ネの問題を大本からたたくことになると提起してきました。

8月10日、南近隣センター和室において市政を語る会が開催されました。

第一部は、岩井・船橋議員による6月議会報告。岩井議員は①補聴器購入補助制度②AEDの効果的配置③不登校問題④防災を質問。AEDの質問は隣の方が交通事故で心臓マッサージをしたがおおくになりなり、そばにAEDがあったらという思いで質問した事。補聴器購入補助や防災ラジオの補助では、他の自治体での広がり報告がありました。

船橋議員は①我孫子

**自民党政治そのものの転換を**

いま、国民が求めているのは、総裁選での「刷新感」の演出ではなく、自民党政治そのものの転換です。

総裁選後、自民党が解散・総選挙に打って出るというなら、今度は国民が自民党政治そのものに退場の判断を下そうではありませんか。

## 市政を語る会開催—岩井・船橋議員による議会報告

4丁目の排水対策②湖北台西小、屋上防水・外装改修工事の安全の質問と、原水禁世界大会参加の報告がありました。

第一部の懇談会では、公園坂通りの多額な費用がかかる無電柱化や旧農産物販売所の温浴・宿泊施設の計画に懸念の声が上がりました。

(栄工)

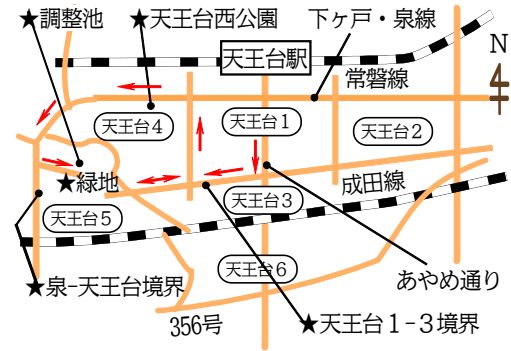


## オオバン

先月末から今月初めに日本列島に大雨をもたらした台風10号。9月の台風は過去にも大きな被害をもたらしました。昭和29年9月26日、台風15号により洞爺丸他4隻の青函連絡船が沈没。死者・行方不明者1430人という連絡船史上最大の海難事故が発生。昭和34年9月26日、「伊勢湾台風」と命名の台風15号は強い勢力で本州を縦断。暴風・高潮によって東海地方を中心に5000人を超える死者・行方不明者。被災者数は全国で約153万人に及びました。その後、洞爺丸沈没事故は青函トンネル建設の足掛かりに。伊勢湾台風の後、伊勢湾干拓地を囲む堤防を高潮で決壊しない様に強固に作り替えられました。青函トンネルと伊勢湾干拓地は、ある大蔵省主計官が「昭和三大馬鹿査定」と莫大な無駄遣いの比喩に例えました。ただ、この二つは物流や安全としては無駄とは思えませんが、あと一つは1941年12月に竣工、1945年4月に沈没した建造費1億4503万円、当時の国家予算の4・4割もの巨費を投じて造られた戦艦大和。防衛省は2025年度予算案で8兆5380億円の概算要求。これ「令和馬鹿査定」にならないか？

(S)

# 我孫子古道巡り 2075 天王台の西側を巡る



今回は天王台の西側を巡ります。

天王台駅は昭和46年に開通しましたが、当初快速電車は通過し取手駅まで延長した緩行線(各停)の停車駅として計画していました。我孫子市議会や住民による「天王台駅快速電車確保連合会」発足等の運動により、昭和53年から快速電車の停車駅となりました。緩行線の停車は平日の朝夕のみとなり現在に至ります。



天王台1-3丁目境界



泉と天王台の境界

西に向かうと北側は常磐



天王台西公園

「天王台西公園」です。公園内には「施工記念碑」があり、区画整理で山林から住宅地になったいきさつが刻まれています。

天王台駅南口を出て「あやめ通り」を南に進み、天王台1丁目と3丁目の境界の道を西に歩きます。突き当りは下り坂で天王台5丁目のマンション群です。戻り、北に向かい「下ヶ戸・泉線」を西に進むと



天王台5丁目・調整池

があり階段を上ると住宅地となっています。戻りマンションの傍は低地で「調整池」(湿地)があります。

(栄 関口)

参考文献「我孫子の地名と歴史」



天王台5丁目・緑地

この道を南に進み天王台5丁目を入ると斜面にわずかに残された「緑地」線をアンダーパスする「利根山ガード」があり、南側は「泉」との境界の道です。共に「高野山」から「柴崎」につながる道です。

## しらかば文芸欄

24 随筆・白山 N

### 蜂の巣にご注意

我が家は森のすぐ近くにあり、そのため、夏から秋にかけては、子どもたちが通る道の近くに蜂の巣が出来ていないか、気にかけて過します。

今年も初夏の頃にスズメバチの巣を発見しました。我孫子市が紹介している蜂の駆除業者さんに来てもらうのですが、蜂に関する専門知識や、自然に対する姿勢に、いつも驚かされます。

以前駆除に来てくれたご年配の方は、蜂の子をいただくと言って帰りました。危険だけれども必要不可欠な仕事をして下さる方に、感謝です。

最近、ネットで調べた蜂の巣駆除業者に来てもらい、結果として高額な請求をされる事例が増えているそうです。蜂の巣を発見したら、市に安心な業者さんを聞くと良いです。



## 常磐線あれこれ 43

ホームドアの話が2ヶ月続いたところで、再び中距離快速電車の話に戻ります。

1987年4月。1872年の鉄道開業から115年続いた国有鉄道は民営企業(JR)として新たにスタートしました。

民営化によって、国鉄時代の画一的な車両は、特急車両は航空機や高速バスなど他の交通機関を意識した車両に。通勤車両は競合する私鉄を意識した車両に変わっていききました。



415系1900番台

首都圏の遠距離通勤輸送の着席通勤への需要に対応するために、輸送力を維持しながら普段の列車で座席数を増やす方法として、既に東海道本線で使用されていた2階建てグリーン車の普通車版を1両のみ試作して、常磐線中距離電車(当時普通電車)で試験的運用が行われました。

車両は2階建てグリーン車をベースに運転室を追加。2階部は3+2人掛、1階部は2+2人掛の固定クロスシート(ボックスシート)を配置。出入り口は乗降がスムーズに行われる様子を普通車と同じ幅(1300mm)の両開き扉を2箇所配置しました。

415系1900番台は1500番台3両を加えた4両ユニットに4両または8両増結した編成で主にフック直後の上り電車他、夕刻の下り通勤快速に充当されました。

(次号へ続く) (緑 竹内)



「ダリア」

若松・高橋祥子



1階部(2+2人掛)



2階部(3+2人掛)